



関電原子力本部前

杉本福井県知事は関電の「新工程表」容認を撤回せよ!



美浜町役場前で

杉本福井県知事は3月24日に関電の森社長と面談し、「工程表」を容認する意向を表明した。関電は「工程表に従って県外に搬出」、「立地町の地域振興に資金拠出」を口約束するだけで、再処理工場の計画や、中間貯蔵施設については確約できなかった。3月31日の反対集会には、全国から多くの人々が参加して、「新工程表」容認の撤回を要求した。そして「老朽原発」の稼働の即時停止と、原発の廃炉に向けて闘うことが確認された。

規制委の高浜60年運転認可に抗議

原子力規制委は3月27日に、関電高浜1号機の運転開始後60年までの管理計画を認可した。高浜1号機は1974年に運転を開始した最古の原発。

原子炉本体の老朽化だけでなく、電線の配線や冷却水・水蒸気などの配管の寿命を考えると極めて危険である。関電のLNG火力発電所でも40年程度で建て直している例もあり、放射線劣化を考慮すれば40年で廃炉にすべきである。

高浜1号機なら73年間に延長

経産省は3月24日に、老朽原発を60年を超えて、さらに伸ばす新ルールをまとめた。再稼働の為に原子力規制委での審査期間等を運転可能時間に「上乘せ」という。これを適用すると高浜1号機は2047年まで73年間に延長できることになる。老朽原発を事故で破滅するまで使い続けようというこの計画は、「今がよければ」という全く無責任なものである。世界に60年を超える原発はない。

関電 ごまかし火力発電の実証実験

気候変動対策として、世界各国では火力発電の縮小が進められている。それに対して日本は石炭火力発電にアンモニアを、LNG火力には水素ガスを混入することでCO2排出量を抑えられるとして、火力発電を継続しようとしている。そしてアジア諸国にその技術売り込もうとしている。国際会議やNGO諸団体からは火力発電の弥縫策として批判されている。

今回、関西電力は姫路第2発電所で水素ガスをLNG燃料に30%混入する実験を行なう。

水素混合で「グリーンイノベーション」??

関電の計画では、天然ガスに約30%の水素を混ぜて混焼させることでCO2排出量は10%程度低減できるという。最大の30%混焼でたった10%?

この計画は経産省と新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が進める「グリーンイノベーション基金」の支援事業として事業費半額の65億円が助成されている。

旧統一教会だけでなく自民党にも「解散命令」を!

東京地裁が高額献金被害を基に解散命令

世界平和統一家庭連合(旧統一教会)に対して、東京地裁は3月25日に、宗教法人法に基づき解散を命じた。確定すると、裁判所が清算人を選任し、財産は整理され、被害者等への補償に使用される。教団側はこの決定に対し即時抗告した。

自民党と一体で犯されてきた犯罪

旧統一教会による「宝石や壺などの高額での販売」、「巨額な献金」は1960年以降、社会問題となってきたが、「勝共連合」による自民党との選挙協力(秘書と応援者の派遣、集票活動)によって、摘発されることなく継続されてきた。2022年の安倍晋三元首相殺人事件を契機とした自民党と旧統一教会の癒着が明らかになるまで放置され、その間に自民党の200人以上の議員が選挙協力を得て、一方では1500人以上の「信者」が200億円以上の被害を受け、多くの家庭が崩壊したのである。

今回の「解散命令」決定は、統一教会の高額献金問題を中心とした経済活動が指弾されているだけである。「勝共連合」の共犯者であり、旧統一教会の政治的庇護者であり、かつ受益者であった自民党については、その存在が隠され、その犯罪は解明されていないし、罰されてもいない。

自民党と統一教会の癒着を徹底的に究明せよ

統一教会の創立以来、自民党の岸信介から安倍晋三に続く安倍派だけでなく、岸田前首相、そして石破現首相も旧統一教会と関係を持ってきた。安倍事件以降、自民党は内容を明らかにしないまま、「関係は絶った」としている。

そこには隠さざるを得ない不正常な関係が伺われる。今なお非公然な協力関係が維持されていると言われている。自民党と旧統一教会の関係を徹底的に究明すべきであり、必要ならば、自民党にも「解散命令」を突きつけなければならない。

太陽光パネルの義務化がスタート(朝日 4/2)

東京都と川崎市で、新築の建物に太陽光パネルの設置を義務つける制度が4月1日から始まった。ビルやマンションだけでなく、大手会社の建設する戸建住宅にも適用される。全体の約半数が対象となる、初期費用の負担減のための補助制度もある。

デブリ採取ロボットの無責任体制(朝日 4/7)

昨年末のデブリ取り出しの耳掻きロボットで注目された、「ロボットアームによる福島原発でのデブリ採取ロボットについての「無責任」の構図が報道された。

工程は政府が決める、技術戦略はNDF、ロボット開発は三菱とIRID、東電は作業を行なう。この複雑な構成で、結果として遅れる責任は誰も負わない。

全米で反トランプ・反マスクの大規模デモ(朝日 4/7)

米国各地で4月5日に大規模なトランプ大統領とイーロン・マスク政府効率化省担当に対する抗議デモが行われた。全国50州でデモが予定され、主催者によると60万人以上が参加したという。多くの人が「Hands Off」(手を引け)、「誰もマスクに投票していない」等のプラカードを持って参加した。



ニューヨークで

サイバー防御法案衆院通過(神戸 4/9)

今国会で通過させてはならない「サイバー防御法案」が衆院を通過した。サイバー攻撃を防御するとの名目で、政府が通信情報を平時から監視するものである。今でも内閣調査室、警察、自衛隊による盗聴が問題なのに、それを一挙に合法化するものである。「通信の秘密」尊重を明記しても解決しない。

政府と闘った2人の沖縄知事の映画(朝日 4/11)

沖縄県知事を務めた太田昌秀さんと翁長雄志さんを主人公に、米軍基地問題と沖縄のせめぎ合いを描いたドキュメンタリー映画「太陽の運命」が4月19日から全国で順次公開される。佐古監督の映画は、「米軍が最も恐れた男 その名はカメジロー」に続き4作目である。



報告 4/13 宝塚市長選挙で市民の候補が勝利



宝塚駅前に400人

4月13日の宝塚市長選で市民派 森りんたろうが勝利！ 自民党と維新推薦の候補を圧倒して勝利。「分断でなく平和」「市民の市政」が多くの市民の共感を呼びました。

案内 4/25 原発いらナイト in 宝塚 145回

福島原発事故以来、宝塚駅前のJR連絡橋で「脱原発」のチラシを配付しています。4月25日は145回目です。サキソフンの演奏の下で、10人ほどで楽しく配付しています。ぜひ参加ください。

日時: 4月25日 17時~18時 場所: 阪急宝塚連絡橋

案内 4/25 京都・主基田違憲訴訟判決



大嘗祭に関連する主基田抜穂の儀の違憲訴訟。大阪高裁は不当にも審理を1回だけの口頭弁論で結審として4月25日に判決としました。

日時: 4月25日(火) 14時より 場所: 大阪高裁202号法廷 終了後弁護士会館で報告集会

案内 4/27 森友事件は未解決！ 怒りの集会



森友事件から9年目、「教育勅語」小学校を阻止した木村真さんを迎えての怒りの集会とデモ。日時: 4月27日(日) 13:15 開場 場所: 豊中文化芸術センター

案内 5/3 かがやけ憲法！ 平和といのちと人権を



5・3 おおさか総がかり集会 「被爆80年 核のタブーの原点に」 長崎大核廃絶准教授 中村桂子 日時: 5月3日(土) 14時より 場所: 扇町公園、市民パレード 主催: おおさか総がかり行動実行委

「アジアから問われる日本の戦争展 2025 5月4~5日 阿倍野市民学習センター 関西わだつみ会は「徴兵制、新兵教育、戦場での兵士、餓死・病死・自殺、経済的徴兵制を展示

<h3>「徴兵制」の制定、そして侵略戦争へ</h3> <p>明治維新以降、日本は列強国と対峙する中で、軍国主義の道を歩いた。この展覧会では、徴兵制の制定とその歴史を詳しく紹介する。</p> <p>【展示内容】 1873年(明治6年)の徴兵令の制定、第一次世界大戦中の徴兵、第二次世界大戦中の徴兵、戦後の徴兵制の廃止など。</p> <p>【展示時間】 5月4日(土) 10:00~17:00 / 5月5日(日) 10:00~17:00</p> <p>関西わだつみ会、日本戦没学生記念会</p>	<h3>暴力で人間性が破壊される「新兵教育」</h3> <p>「人間らしさ」が破壊された社会。新兵教育は、兵士としての訓練だけでなく、人間性を破壊する手段として使われた。</p> <p>【展示内容】 新兵教育の現場、兵士の生活、新兵教育の目的など。</p> <p>【展示時間】 5月4日(土) 10:00~17:00 / 5月5日(日) 10:00~17:00</p> <p>関西わだつみ会、日本戦没学生記念会</p>	<h3>戦場での兵士たち 疲労と栄養失調</h3> <p>兵士と栄養失調、疲労と伝染病。戦場での兵士たちは、疲労と栄養失調に悩まされ、伝染病に感染した。</p> <p>【展示内容】 戦場での兵士の生活、疲労と栄養失調、伝染病の発生など。</p> <p>【展示時間】 5月4日(土) 10:00~17:00 / 5月5日(日) 10:00~17:00</p> <p>関西わだつみ会、日本戦没学生記念会</p>	<h3>近代日本の戦死者と犠牲者</h3> <p>近代日本の戦死者と犠牲者。戦死者の数は、戦前と戦後で大きく異なる。</p> <p>【展示内容】 戦死者の数は、戦前と戦後で大きく異なる。戦死者の生活、戦死者の家族など。</p> <p>【展示時間】 5月4日(土) 10:00~17:00 / 5月5日(日) 10:00~17:00</p> <p>関西わだつみ会、日本戦没学生記念会</p>	<h3>経済的徴兵制とは何か</h3> <p>経済的徴兵制とは何か。経済的徴兵制は、兵士としての訓練だけでなく、経済的な負担を課する手段として使われた。</p> <p>【展示内容】 経済的徴兵制の現場、兵士の生活、経済的徴兵制の目的など。</p> <p>【展示時間】 5月4日(土) 10:00~17:00 / 5月5日(日) 10:00~17:00</p> <p>関西わだつみ会、日本戦没学生記念会</p>
---	---	---	--	--

「アジアから問われる日本の戦争」展

2025

5月4日 [日] 10時～17時

5月5日 [月] 9時半～16時

阿倍野市民学習センター
入場無料 (地図裏面)



Word: DANNY JIN
Photo: Mohamed Ibrahim (@mohamed.ibrahim.m)



【メインイベント①】5月4日 14時から 講堂にて

DANNY JIN ライブ&トーク

どいつもこいつも歴史から学ばず

〔プロフィール〕

※資料代1000円

パレスチナと日本にルーツを持つラッパー。

2023年より活動を開始。イスラエルによるガザ侵攻をきっかけに、パレスチナに関する曲を多数発表。その革新的な活動は国内外の注目を集めている。

情勢報告: 役重善洋 1990年代末よりパレスチナ連帯運動に関わっている。同志社大学人文科学研究所嘱託研究員。

【メインイベント②】5月5日 13時半から 講堂にて

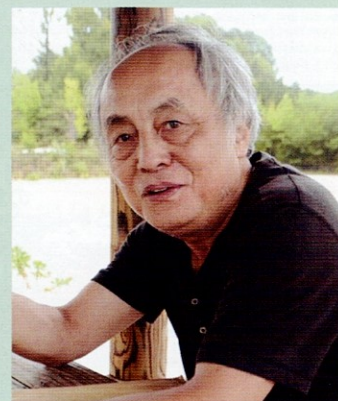
※資料代 1000円

高井弘之 講演会

継続する大日本帝国と新たな戦争態勢

～東アジアでの戦争を止めるために～

戦後80年の言葉があふれる日々。はたして1945年の敗戦で日本は生まれ変わったのでしょうか。戦争責任を問われることのないまま、いままた戦争体制に突き進んでいます。高井さんは主張します。日本は80年で区切られてはいない。むしろ「日本150年」だと。アジアを支配するため、150年前に「日本人」は創られ、そして変わることなくいまも続いています。そのくびきを断ち切り、戦争を止めるために、私たちは何が必要なのか、ともに考えましょう。「戦争止めよう! 沖縄・西日本ネットワーク」共同代表、「ノーモア沖縄戦えひめの会」運営委員。著書に『日米の「対中国戦争態勢」とは何かー東アジアでの戦争を止めるためにー』『礼賛される「日本150年」とは、実は、何かー日本ナショナリズムの解体と新たな列島社会の形成に向けてー』等多数。



映画、音楽の集い

講堂にて

※戦争展への協力金として1日500円いただきます

5月4日(日)

10:00～ **武器なき斗い**

山本薩男監督作品 1960年 141分
1919年、政府の治安維持法改悪にただ一人反対し、右翼の凶刃に倒れた労農党代議士、ヤマセンこと山本宣治の人間味溢れる生涯を描く。

5月5日(月)

10:00～ **台湾原住民族 生命之歌**

日本軍兵士として南洋に出征し命を落とした台湾原住民兵士たち。その子孫たちが靖国神社から祖先たちの魂を取り戻そうとする。誇り高き歌声を持つ「飛魚雲豹音楽工団」による、2007年エルおおさか「プachel」でのコンサート映像。(約45分)

11:00～ **私たちの公聴会 (吉元玉ハルモニを追悼して)**

制作:「慰安婦」問題解決オール連帯ネットワーク 2007年 32分
「この老いた身体で闘おう」と仲間を鼓舞し、2013年に亡くなられた中国の性暴力被害者・万愛花さんと、世界各地を駆けずり回って日本軍「慰安婦」問題の解決を訴え、今年2月16日に亡くなられた韓国の日本軍「慰安婦」被害者・吉元玉さんの貴重な証言。

11:45～ **平和コンサート 池辺幸恵(平和のピアニスト)**

池辺幸恵によるミニコンサート。池辺は2001.9.11から映像と音楽の平和コンサートをはじめた。広島県人なので被爆ピアノを皮切りに原爆・戦争・平和・人権をテーマの映像ライブを、日本から中国・仏・韓国・朝鮮・欧米で海外公演をしてきた。

市民の手で戦争展を 作りましょう! 賛同金のお願い

「アジアから問われる日本の戦争」展は、加害の展示を撤去したピースおおさかに危機感を覚えた市民の手によって、「市民の手で子どもたちに正しい戦争を伝えなければならぬ」とスタートしました。

財源もみなさまの賛同金のみです。

団体賛同1口 3000円

個人賛同1口 500円

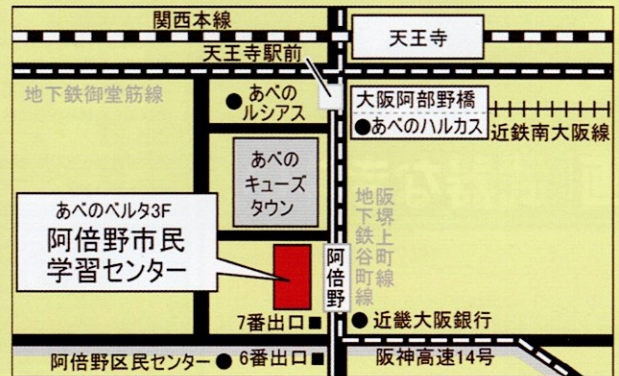
振替口座：00940-1-237543

(ピースを取り戻す会)

※「戦争展賛同」とご明記ください
名前公表の可否を通信欄あるいはメールにてお知らせください

【会場アクセス】

地下鉄谷町線阿倍野駅下車7番出口より地下直結あべのベルタ3階



お話の集い

アトリエにて

5月4日(日) 13:00～

中川美由紀さんのお話《富山不二越訴訟の現場から》

富山不二越訴訟を原告とともに闘う中川美由紀さんが問う、戦後補償と戦争責任。



(写真は昨年の戦争展より)

「アジアから問われる日本の戦争」展2025 実行委員会

E-mail regain_peace@yahoo.co.jp Tel 080-5634-3553

展示内容や講演会・映画上映等の情報は順次フェイスブックに公開します。

フェイスブックのページはこちらのQRコードから →



【構成団体】アジア民衆歴史センター/1%の底力で朝鮮学校の民族教育を支える会/岩国労働者反戦交流集会実行委員会/大阪城狛犬会/音楽と平和のつどい/韓国の原爆被害者を救援する市民の会/関西わだつみ会/京都・祝園ミサイル弾薬庫問題を考える住民ネットワーク/神戸・南京をむすぶ会/参戦日本兵の写真/書のサロンW.S./侵略と加害の教科書展示/設置理念に則ったピースおおさかを取り戻す会/戦死した叔父の遺した卒業アルバム/戦争と看護を研究する会/戦争プロパガンダ研究会/治安維持法犠牲者国賠要求同盟堺支部/とめよう戦争！伊丹自衛隊・防衛省申し入れ行動/南京大虐殺60年大阪実行委員会/南西諸島への自衛隊配備に反対する大阪の会/日中友好協会大阪府連合会/日中友好協会堺支部/日中民間交流促進会/日本の近現代史を問う会/バナバ民族協会日本/爆発赤痢の謎を追う！関西研究会/反核・平和委員会/反戦国際兵士井田助男とともに/東アジア青少年歴史体験キャンプ実行委員会/撫順の奇蹟を受け継ぐ会関西支部/米軍Xバンドリーダー基地反対京都連絡会/平和と民主主義をめざす全国交歓会(ZENKO南大阪)/みんなび(みんなで考えよう「慰安婦」問題)/靖国合祀イヤですアジアネットワーク/リブ・イン・ピース☆9+25/琉球弧の軍事要塞化に反対する有志の